

中小企業地域資源活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

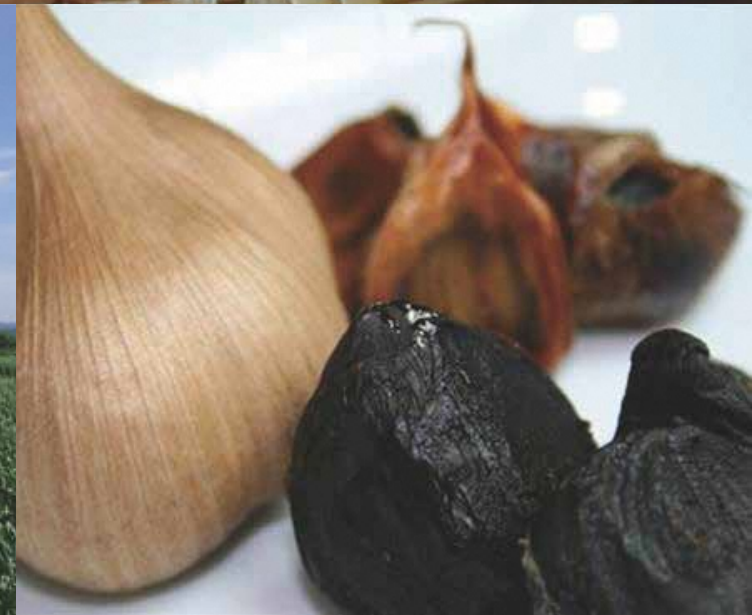


八戸圏域連携中枢都市圏



が応援するふるさと名物

はちのへし さんのへまち ごのへまち たっこまち
八戸市、三戸町、五戸町、田子町、
なんぶちょう はしかみちょう しんごうむら ちょう
南部町、階上町、新郷村、おいらせ町



**パワー
全開!!**

**にんにく・黒にんにくを
活かした加工品群**



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成30年8月30日



八戸圏域連携中枢都市圏

はちのへし さんのへまち ごのへまち たっこまち なんぶちよう はちかみちよう しんごうむら ちょう
八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町

地域の プロフィール

◎八戸圏域連携中枢都市圏は、平成29年3月22日に誕生した従来の自治体連携の枠を超えた新たな拠点である。

◎青森県南に位置する三八地域の1市7町村で構成され、人口約32万人、面積約1,346km²を有する。

◎陸海空のアクセスに優れた北東北最大の産業都市「八戸市」を中心に、独自の風土を有する三戸地方の中心「三戸町」、野菜を中心とした複合経営の農業、内陸型工業等が集積する「五戸町」、耕畜連携の地域農業を振興し、にんにくのブランド化に成功した「田子町」、交通の要衝にあって果樹を中心とした農作物の生産拠点「南部町」、基幹産業である農業・漁業、観光など地域資源に恵まれた「階上町」、農林・畜産業を基幹産業とし安全・安心な食づくりに力点を置く「新郷村」、恵まれた交通アクセス、産業、自然を有する人口増加中の「おいらせ町」と個性豊かな自治体が、少子高齢社会においても一定の人口を有し、活力ある社会経済を維持するため、連携の深化に努めている。



八戸圏域連携中枢都市圏
八戸都市圏スクラム8



ふるさと名物の内容

1

主な地域資源

にんにく

- 南部町を原産地とし、最高級品種として知られる「福地ホワイト六片」
- 青森県は、国内出荷量の約7割を占めるにんにくの一大産地
- 過去には収穫量トップ20に圏域の7市町村がランクイン
- 技術革新、出荷基準の厳格化、恵まれた気候風土による高い品質
- 「たっこにんにく」はブランドとしてあまりにも有名



黒にんにく

- 2006年から研究開発が進められ、今では県内各地で生産される
- 生とは打って変わって、糖度が高いドライフルーツのような食味
- S-アリルシステインなど機能性成分が豊富で健康食品としても認知が広がる
- その機能性に着目したサプリメントなどの加工品も製造されている
- 国内はもとより、海外からの引き合いも多い



2

ふるさと名物

にんにく・黒にんにくを活かした加工品群

2006年以前は、生出荷が中心だった青森県産にんにく。

今では、様々な調味料や黒にんにくをはじめ、青森県内での加工も進み、JAや商工団体によるブランド化が図られ、地域内での付加価値化が進んでいます。



市町村の取り組み

3

独自の支援策

地産地消の推進

充実した産直施設、道の駅等の施設集積を活かした地産地消の推進



商品開発の支援

新商品の開発に係る補助金、
情報提供等の支援



国内外の販路開拓支援

国内外バイヤー等との商談機会の創出と展示会等への出展支援



にんにく・黒にんにく関連団体の取り組み

協同組合青森県黒にんにく協会

平成20年に青森県内の黒にんにくメーカーの任意団体として設立され、平成25年に協同組合となる。県内の10社が組合員となり、「青森の黒にんにく®」のブランド化や商品の普及を行っている。

■ 主な取り組み

1 商品認定制度の創設

地域の特産品として高い品質を維持するため、第三者機関による商品の認定制度を創設。海外からも認定依頼が寄せられており、認定された商品は協会推奨マークが使用可能となる。

2 地域団体商標の登録

青森県全域を対象とした地域団体商標として「青森の黒にんにく®」を登録。更なる国内外での販路拡大と地域産業としての振興を目指す。

3 食品安全認証制度の創設・運用

NPO法人黒にんにく国際会議が、世界初の黒にんにく専用の食品安全認証制度を創設。これを国際的な基準とすることで、輸出における課題解決を図る。協会はメーカーへの衛生指導を担当する。

世界黒にんにくサミット in 八戸

平成28年から毎年9月6日(くろ)に八戸市内で開催される国際会議。主催は同協会及び同NPO法人。世界に広がる黒にんにくの可能性をさらに高め、世界に良質な商品と正しい知識を発信するため、「ゴー・ミヨ」シェフ・オブ・ザ・イヤーに選出されたレナト・ファヴァロ氏を始め国内外の著名な講師によるスピーチ・プレゼンテーションのほか、推奨商品及び認定飲食店の表彰、創作料理コンテストなどを実施。平成29年の第2回サミットでは、全国33都道府県、海外6つの国・地域から400名を超える参加者があった。

